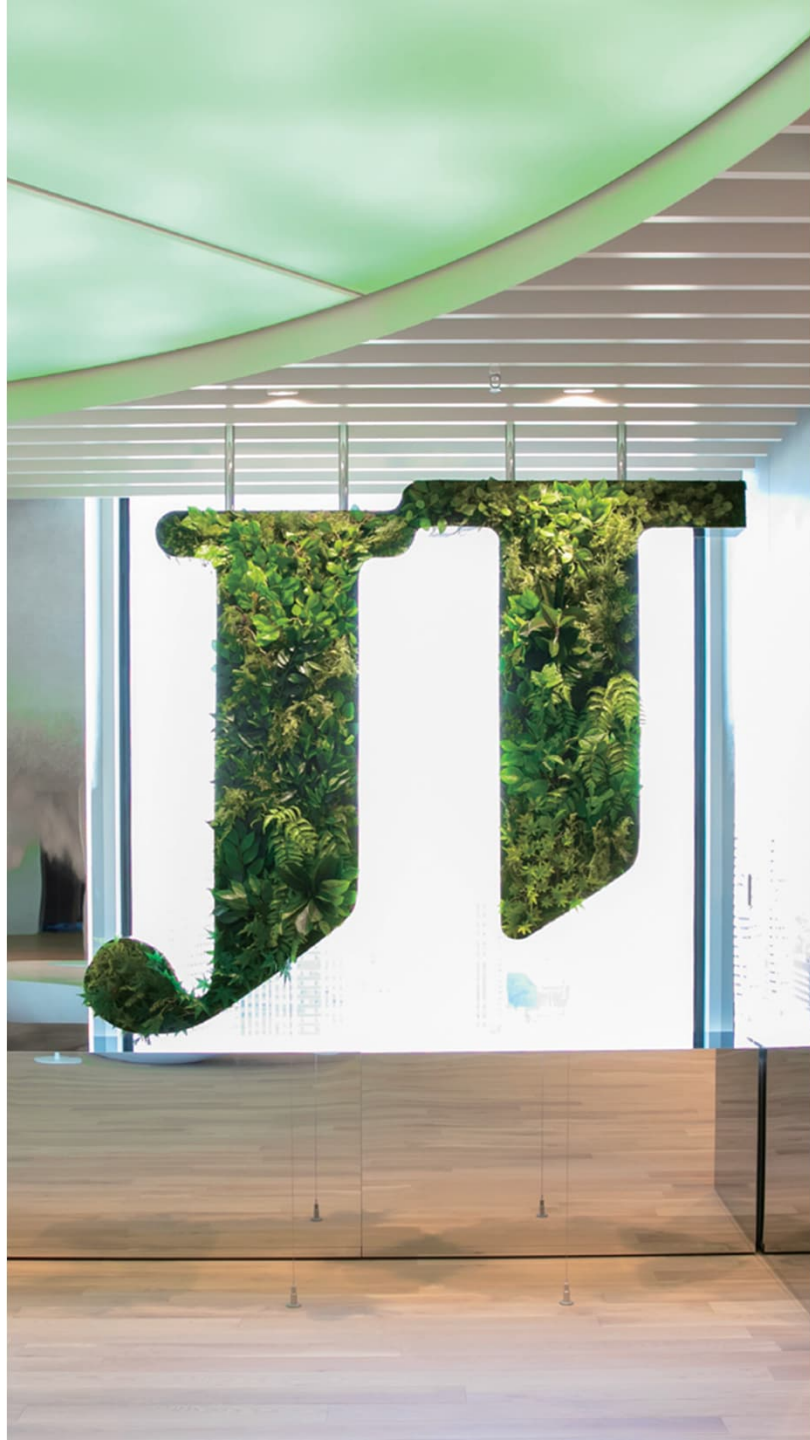




個人投資家の皆様へ

オンライン会社説明会

2023年9月25日(月)

日本たばこ産業株式会社(証券コード:2914)

代表取締役副社長

財務・Corporate Communications・

ビジネスディベロップメント・D-LAB担当

中野 恵

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

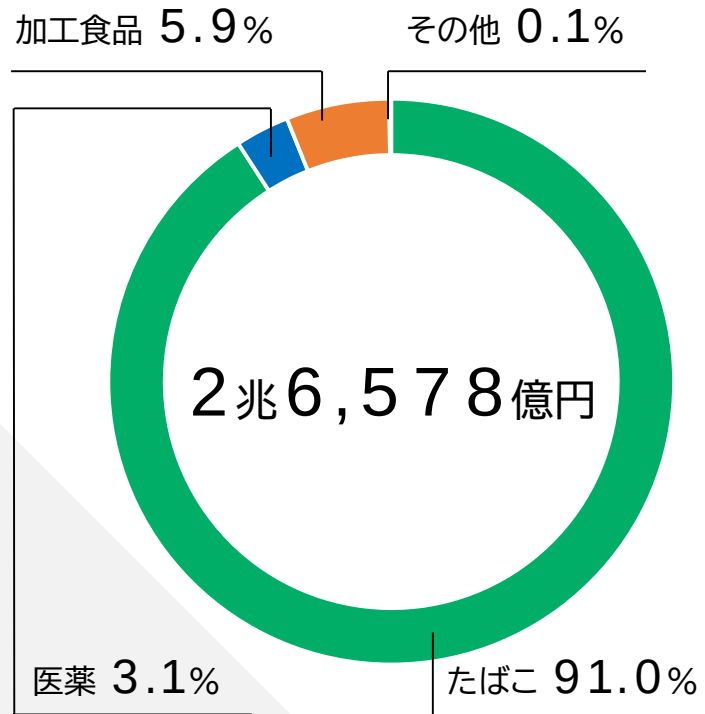
- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、
国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、
喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

- 01 JTグループの概要
- 02 経営計画2023
- 03 たばこ事業の中長期戦略
- 04 D-LABの取組み
- 05 事業見込・株主還元
- 06 サステナビリティ

JTグループの概要

JTグループは、130以上の国と地域で製品を販売するグローバルたばこメーカーです。
たばこ事業に加え、医薬事業と加工食品事業も展開しています。

売上収益構成比(2022年度)



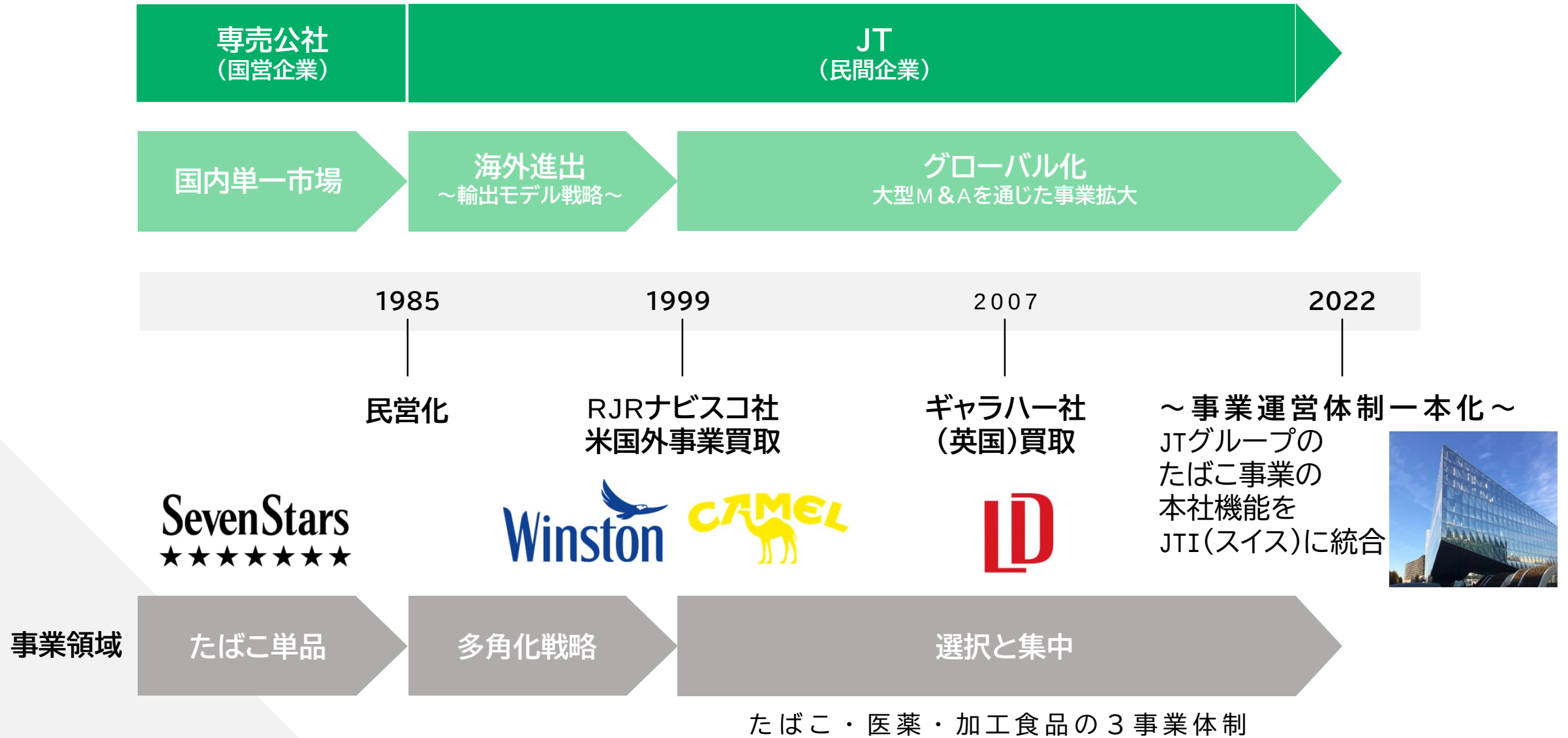
たばこ事業



医薬事業



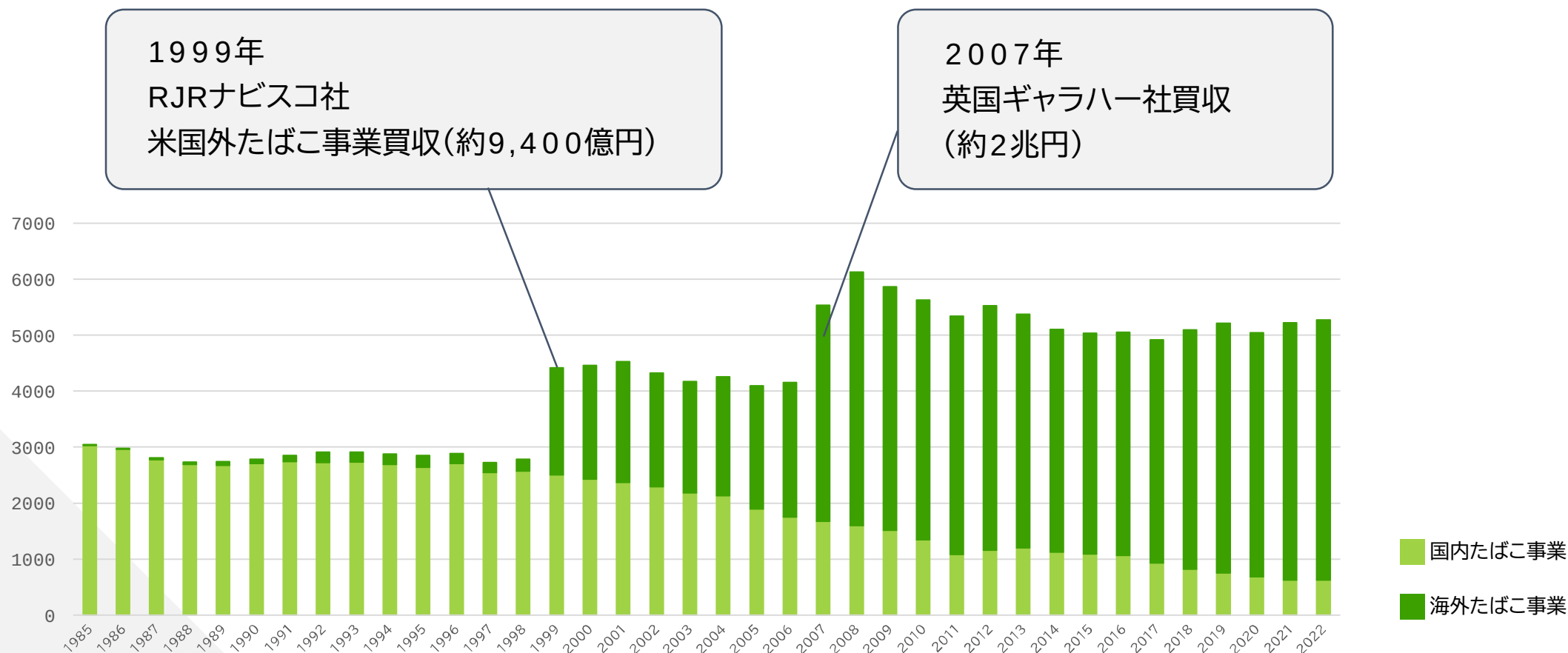
加工食品事業



※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません。

大型買収を通じたグローバル化

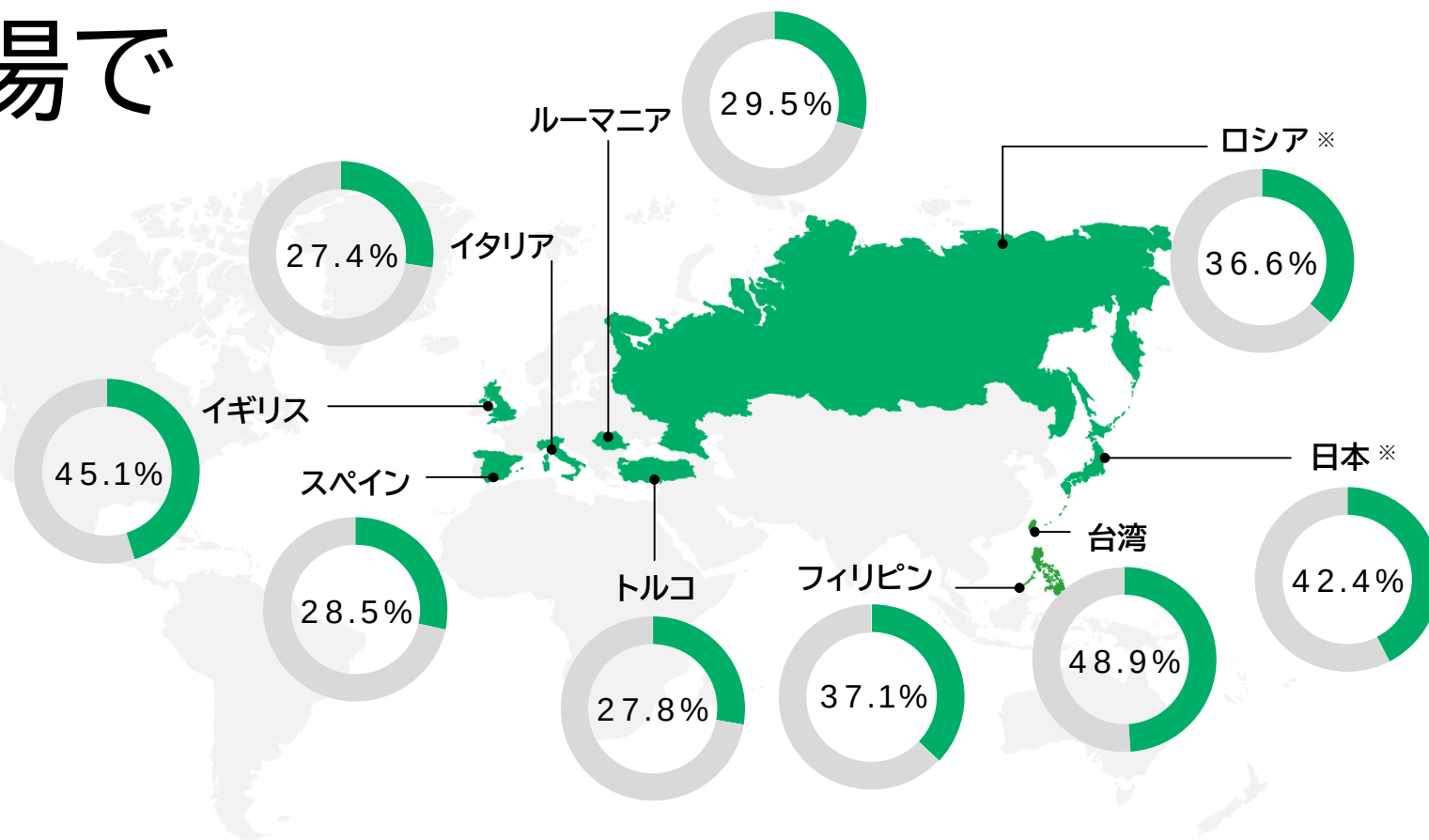
販売数量推移(億本)



出典:JT調べ

世界の主要市場で 強固な シェアを獲得

たばこ市場における
主要市場シェア2022年度実績



※ 日本とロシアにおける市場シェアは、CombustiblesおよびRRPを含みます

たばこ製品の広がり

Combustibles

可燃性の
たばこ製品

紙巻きたばこ
(シガレット)



葉巻
(シガー)



その他パイプ、
煙管など



RRP
(Reduced-Risk
Products)

喫煙に伴う健康リ
スクを低減させる
可能性のある製品

※1
HTS
(Heated Tobacco
Sticks)



※2
インフューズド



その他電子たばこ
(E-vapor)、
無煙たばこなど



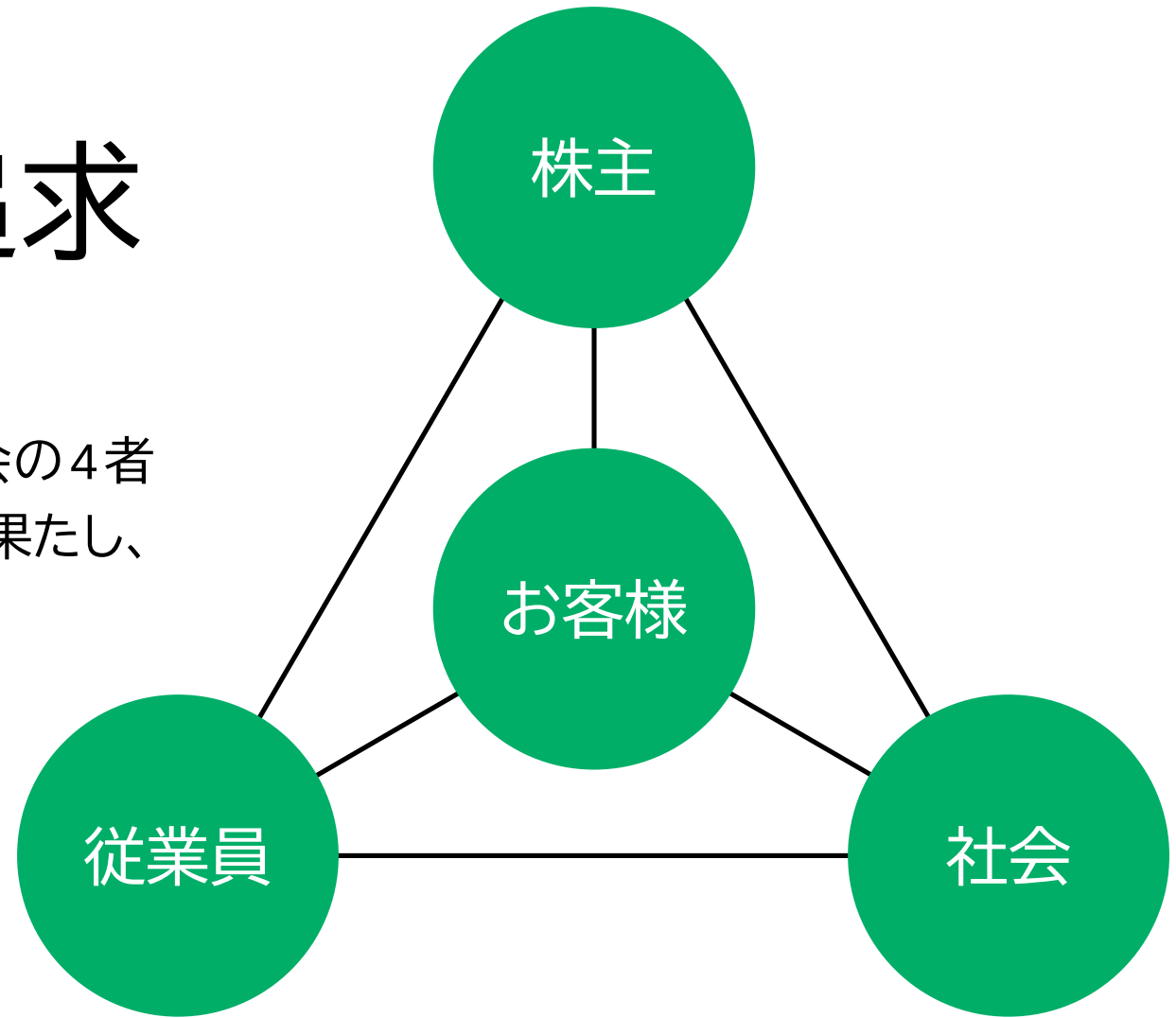
※1 高温加熱型の加熱式たばこ製品

※2 液体を加熱することで発生させた蒸気をたばこカプセルに通過させ、たばこペーパーを愉しむ製品

「4Sモデル」の追求

企業理念

お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者
に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、
4者の満足度を高めていく



心の豊かさを、もっと。

私たちJTグループは、これまでずっと、心豊かに生きるための「とき」と向き合ってきました。

科学やテクノロジーの進化、価値観の多様化。

どんなに時代が変わっても、私たちは、今ここにある何気ない瞬間にも喜びを見つけられる、心の豊かさを大切にしたいと思っています。

ありのままの自分を認められる「とき」 大切なひとと喜びを共有する「とき」 それぞれを認め合って、高め合って過ごす「とき」

そんな素晴らしい「とき」の積み重ねが、素晴らしい毎日をつくり、素晴らしい人生をつくる。

そしてきっと、社会、世界、未来までをも、よりよくしていく。

JTグループは、提供してきた心の豊かさを、次のステージへ。

より多くのお客様やパートナーと、さまざまな事業や取り組みを通じて、社会に心の豊かさを育んでいきます。

「今日もよい一日だった」と感じられる心豊かな社会のために、私たちができることのすべてを。

●JTグループアイデンティティ(大切にしてきた価値) ●アクション

●43長計

たばこ事業は、人間の微妙な感覚と心理の深層に対する多面で多様な働きかけを、短い一服の瞬間にこめて生活の緊張をほぐし、その内容に豊かなよこびをおくるユニークな産業である

●日本たばこ産業株式会社設立

ミッション「心の豊かさを創造するマーケティングカンパニー」

●JT経営ビジョン96

delightコンセプト「多様なあいの接点に生まれる発見、驚き、喜びの瞬間である」を策定

●JTブランディング宣言

「かけがえのないディライト(ステークホルダーの期待以上の価値、期待を超える喜び)を提供するブランディングカンパニー」

●JT-11公表

- ・長期ビジョン:「JTグループならではの多様な価値をお客様に提供するグローバル成長企業」
- ・JTグループミッション
- ・JTグループWAY

●「MILD SEVEN」ブランドを「MEVIUS」へ変更

MEVIUS

当期利益

4,427億円

JT Group Purpose
策定
「心の豊かさを、
もっと。」

1968

1985

1994

1996

1998

1999

2002

2007

2008

2013

2016

2021

2022

2023

●医薬事業部・
食品事業部を設置

●株式公開・上場

●鳥居薬品(株)
の発行済株式の
過半数を取得

●RJRナビスコ社(米国)から
米国外たばこ事業を買収



●ギャラハー社
(英国)買収



●(株)加ト吉(現テーブルマーク(株))および富士食品工業(株)の発行済株式のそれぞれ過半数を取得



●高温型加熱式たばこ
「Ploom X」を発売

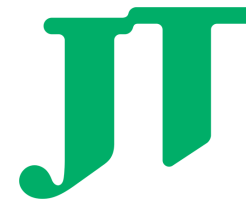


- 「Natural American Spirit」の米国外たばこ事業を取得
- 低温型加熱式たばこ「Ploom TECH」を発売

●たばこ事業運営体制一本化

※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません。

02



経営計画2023

たばこ事業を利益成長の中核かつ牽引役として、
引き続き中長期に亘る持続的な利益成長を追求

調整後営業利益 年平均成長率¹

Mid to high single digit

(一桁台半ばから後半)

Combustibles
における
ROIの向上

RRPへの
投資強化

事業運営における
効率性の追求

グローバルな組織力の強化

1. 全社調整後営業利益 年平均成長率(為替一定)

Creating fulfilling moments,
Creating a better future.

Combustibles トップラインとROIの最大化

- ✓ 継続的なシェア獲得
- ✓ プライシング機会の最大化
- ✓ 投資規律の強化



Creating fulfilling moments,
Creating a better future.

RRP

HTSへの経営資源の集中的な投入

- ✓ Ploom Xの地理的拡大
- ✓ 組織力の強化
- ✓ HTSとは異なる製品の探索

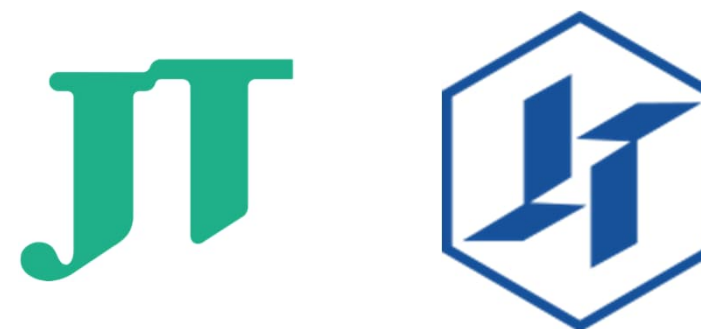


※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません。

科学、技術、人財を大切にし、
患者様の健康に貢献します。

次世代戦略品の研究開発及び
各製品の価格最大化

- ✓ 研究テーマ充実・創薬プロセスの革新による創薬力の更なる向上
- ✓ 鳥居薬品と連携した個別製品
- ✓ 中長期的な事業基盤の最適化によるコスト削減



食事をうれしく、食卓をたのしく。

事業コスト高騰環境における
収益性の高いトップライン成長の実現

- ✓ 価格改定施策の着実な遂行及び高付加価値な商品群への資源配分の強化
- ✓ 長期的視点での事業成長に向けた取り組みの加速



富士
富士食品工業株式会社



たばこ事業の中長期戦略

カテゴリ別総売上高

(たばこ産業全体の市場規模)

2022-35
増減

2022-35
年平均成長率

Combustibles

+ \$17 Bn

+ 1%

RRP

+ \$48 Bn

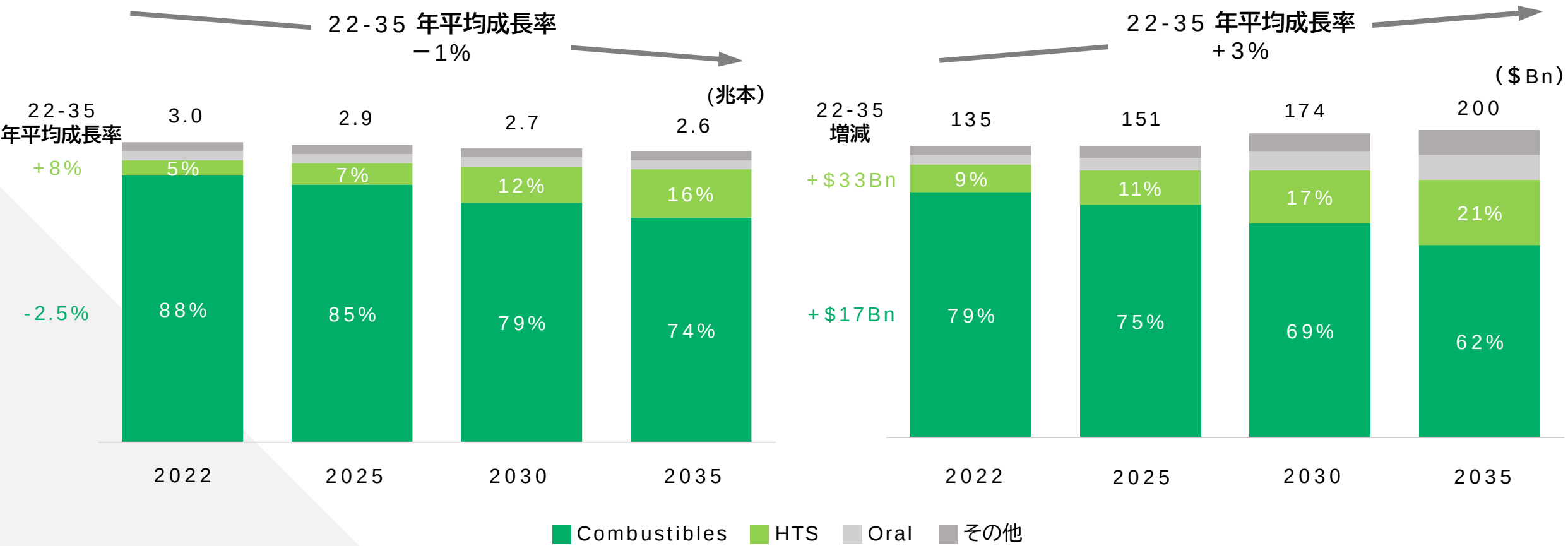
+ 8%

注: JT推計。たばこ産業全体の数量に中国市場は含まれておりません。

販売数量ベースではCombustiblesが最大のカテゴリーであり続けると想定。
総売上高においては、HTSがCombustiblesを上回る成長を見込む。

たばこ産業全体の販売数量

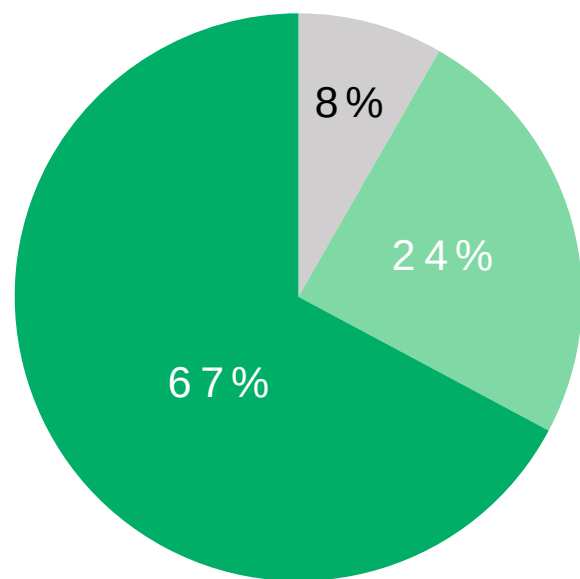
たばこ産業全体の総売上高



持続的成長に向けた
マーケット毎の戦略的な役割の明確化

Market role	EARNINGS	EARNINGS & SoM	SoM
重点項目	持続的な収益獲得	持続的な収益獲得と 市場シェア獲得の バランス	中長期の利益成長を 実現するための 顧客基盤の構築
2022年の販売数量に おける割合	43%	47%	10%

RRP分野への投資内訳



2023-2025

■ 設備投資 ■ 研究開発 ■ マーケティング

- 2023年から2025年にかけてHTSを中心に3,000億円の投資を予定
- HTSカテゴリシェアの拡大及びPloom Xのグローバル展開の加速
- 2028年におけるRRPビジネスの黒字化

Gen 1(2020)



Ploom S
(Japan)

Gen 2(2020)



Ploom S 2.0
(Japan)



Ploom model S
(outside Japan)



Gen 3(2021)

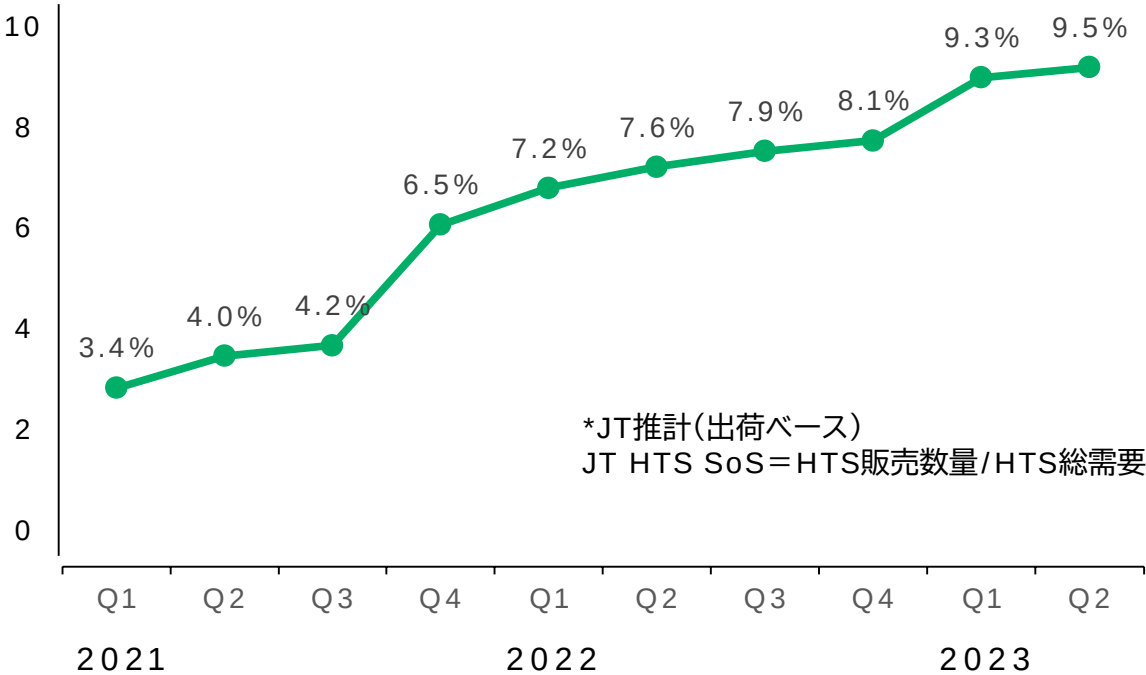


Ploom X
(Global)

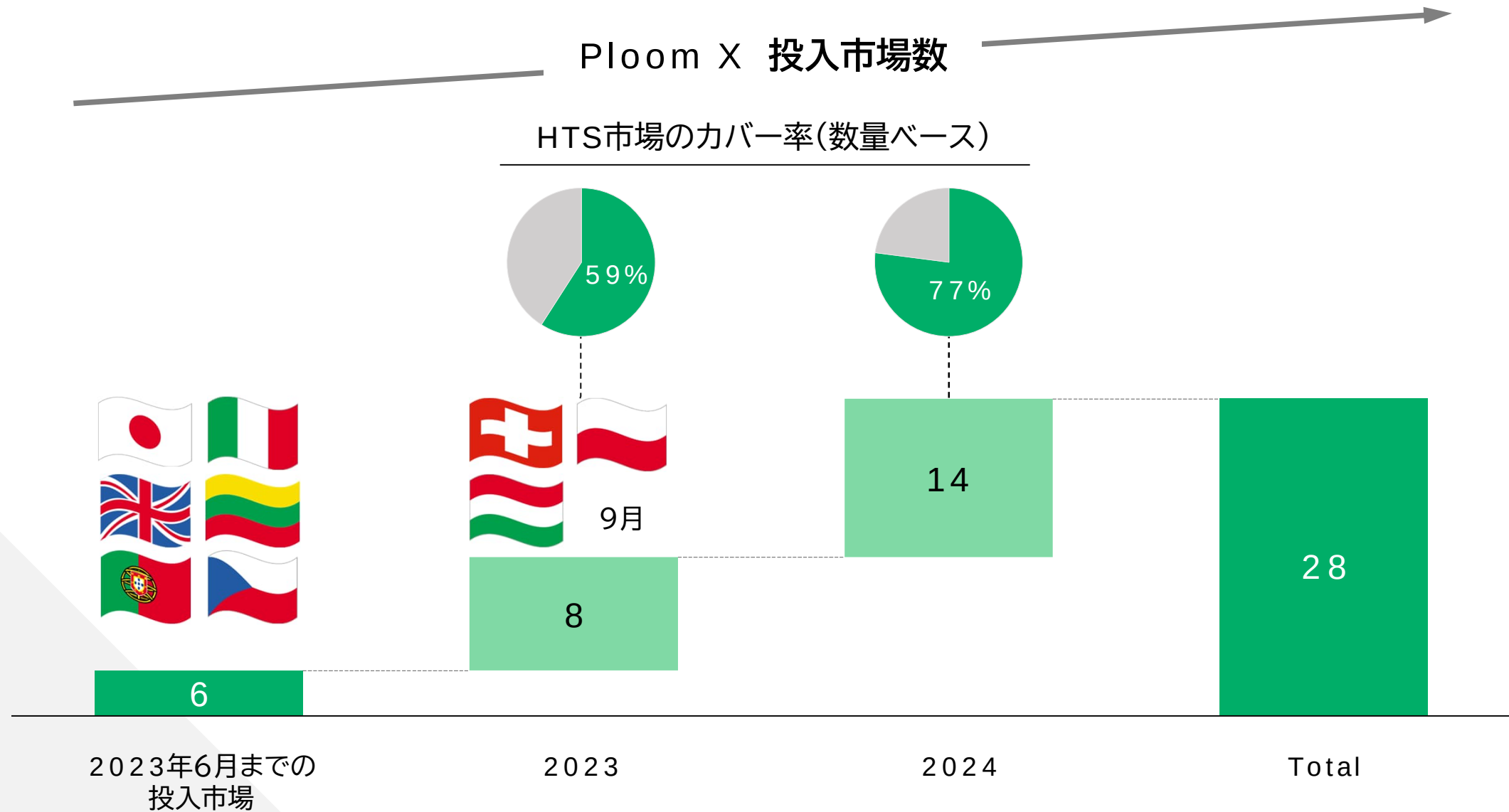




日本市場:HTSカテゴリにおけるJTシェア*の推移



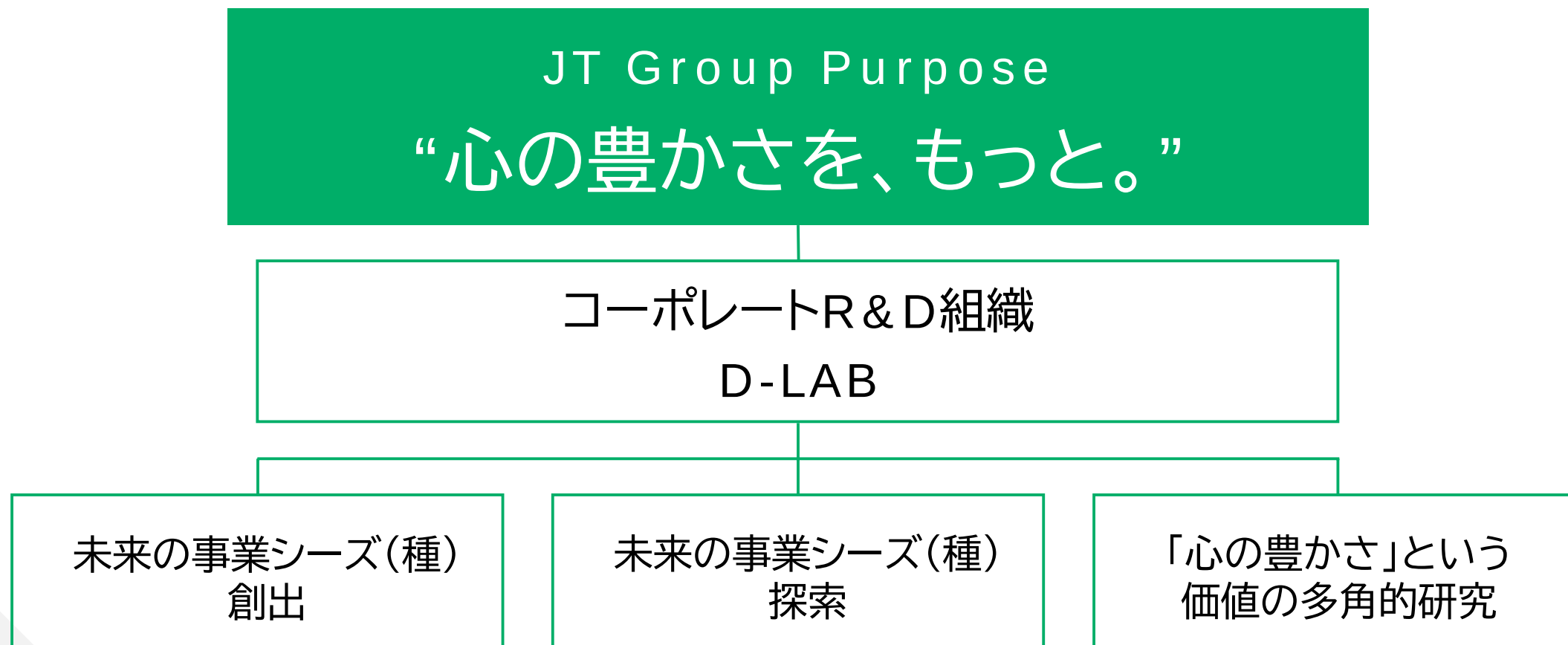
※本スライドは、JTグループの事業活動を説明するためのものであり、当社グループの製品について、消費者への販売促進もしくは使用を促す目的のものではありません。



- 米国においてMarlboro(マールボロ)製品を販売するAltria社との間でHTS製品を商業化することを目的とし、米国に合併会社を設立することについて合意。
また、RRPの更なる事業機会を探求するため、長期にわたる戦略的なグローバル・パートナーシップについても合意。
- PloomデバイスとMarlboroブランドのたばこスティックを活用し、米国でのHTS製品の商業化を目的とした合併会社を設立
- RRPに関する科学的知見や法規制に関する情報を共有し、米国食品医薬局に対して、2025年度上期を目途にPloomの最新バージョンの販売前申請(PMTA)を提出予定

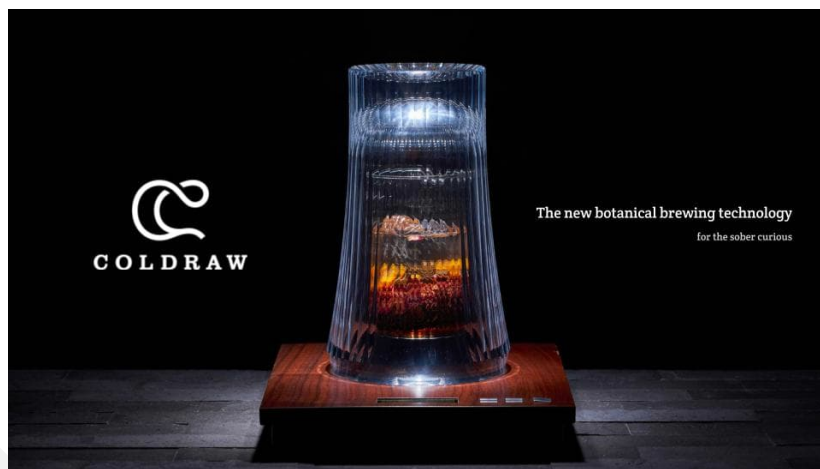


D-LABの取組み

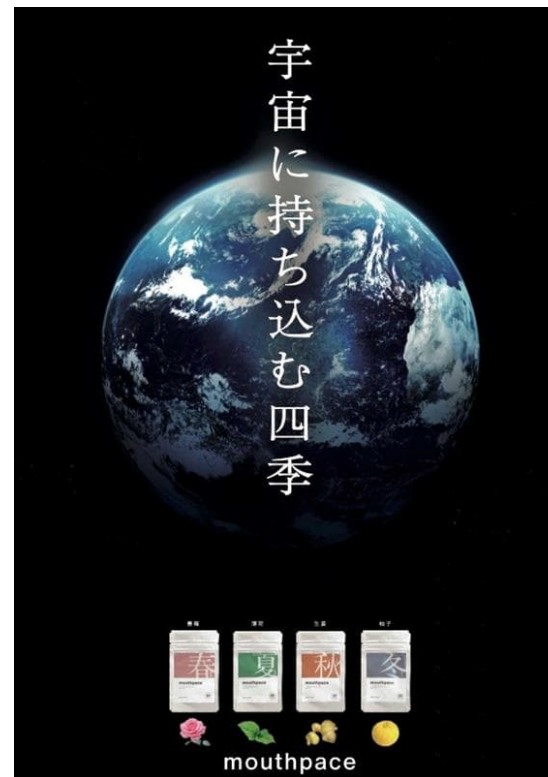


長期視点で社会の「心の豊かさ」を育むことに貢献し、
JT Groupの利益成長への貢献も目指す

ノンアルコールドリンクの ための新テクノロジー 「COLDRAW」



タブレット型ハミガキ & マウスウォッシュ 「mouthpace」



国際宇宙ステーション(ISS)搭載品

事業見込・株主還元

(億円)	2023年修正見込み (7月31日発表)	対当初見込 増減	前年度比 (%)
財務報告ベース			
売上収益	27,590	+1,300	+3.8%
調整後営業利益	6,830	+160	▲6.2%
営業利益	6,330	+210	▲3.1%
当期利益	4,570	+170	+3.2%
FCF	4,780	+760	+951億円

注:IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記表に記載の財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます。

■ 強固な財務基盤¹を維持しつつ、中長期の利益成長を実現することにより株主還元の向上を目指す

■ 資本市場における競争力ある水準²として、配当性向75%を目安³とする

■ 自己株式の取得は、当該年度における財務状況及び中期的な資金需要等を踏まえて実施の是非を検討

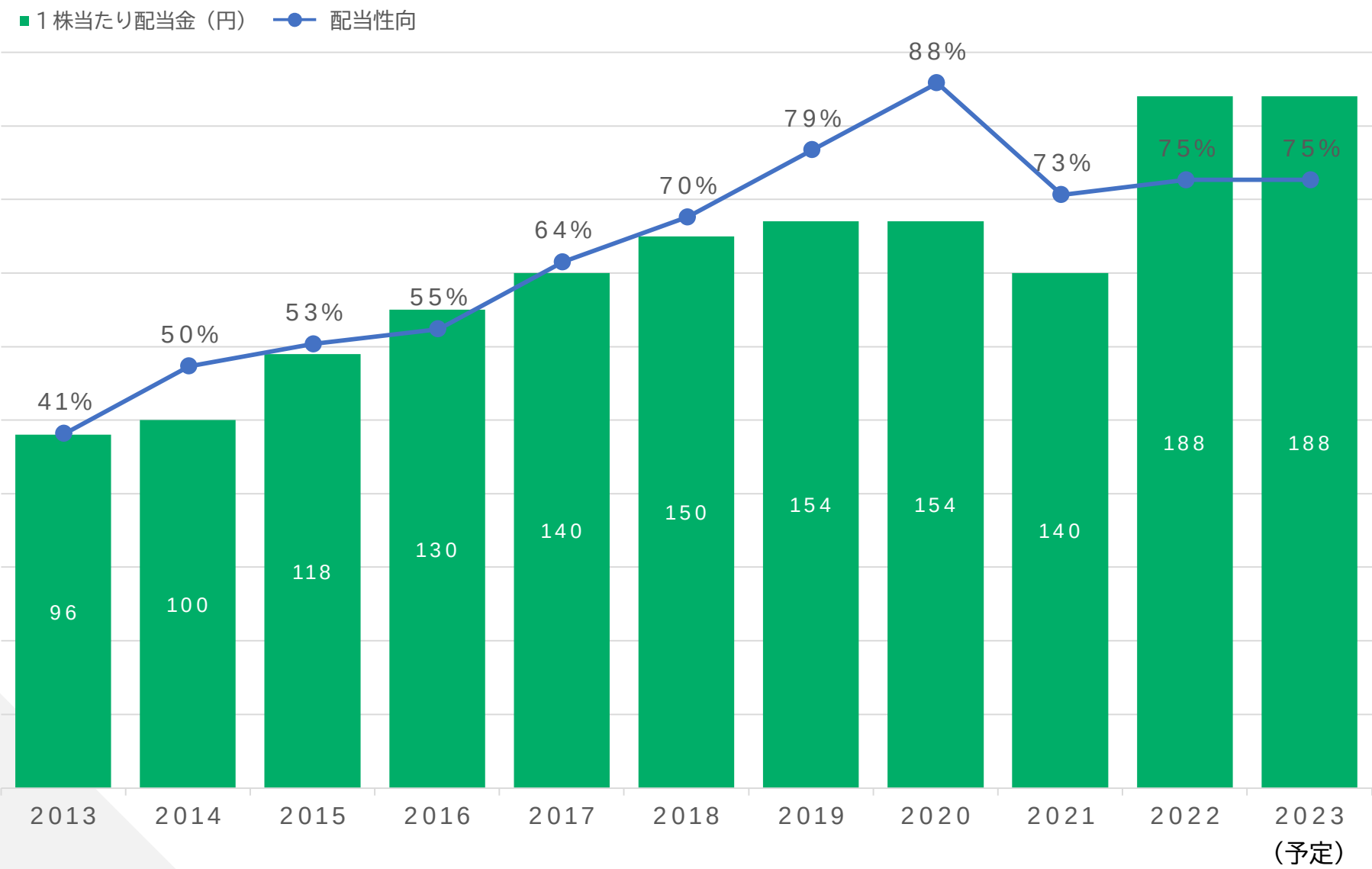
1. 経済危機等に備えた堅牢性、及び機動的な事業投資等への柔軟性を担保
2. ステークホルダーモデルを掲げ、高い事業成長を実現しているグローバルFMCG(Fast Moving Consumer Goods)企業群の還元動向をモニタリング
3. ±5%程度の範囲内で判断

一株当たり

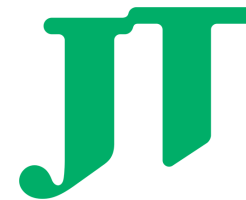
年間配当金は
188円(予想)

中間配当94円
期末配当94円(予想)





06



サステナビリティ

JTグループのサステナビリティへの取り組み



JTグループではサステナビリティを経営の中核と考えており、サステナビリティに関する課題をグローバルレベルで解決するために、グループ全体でサステナビリティへの取り組みを進めています。

ESG(環境・社会・ガバナンス)の課題に積極的に対応していくことが事業継続に不可欠との考えのもと、JTグループとして、持続可能な自然や社会づくりに貢献していくために、マテリアリティ(重要課題)を特定して取り組んでいます。

マテリアリティ

自然や社会と人の暮らしはつながっており、自然や社会が持続可能であってはじめて、人の暮らしや企業の活動も持続可能となります。

JTグループはJT Group Purposeの具現化を通じて持続可能な自然や社会づくりに貢献していくために、以下のマテリアリティ(重要課題)に取り組んでいきます。

自然との
共生

お客様の期待を
超える価値創造

人財への投資と
成長機会の提供

責任あるサプラ
イチェーンマネ
ジメント

良質な
ガバナンス

人権の尊重

私たちが事業を運営する上で関わるすべてのステークホルダーの人権を尊重するため、「JTグループ人権方針」のもと、さまざまな取り組みを行っています。



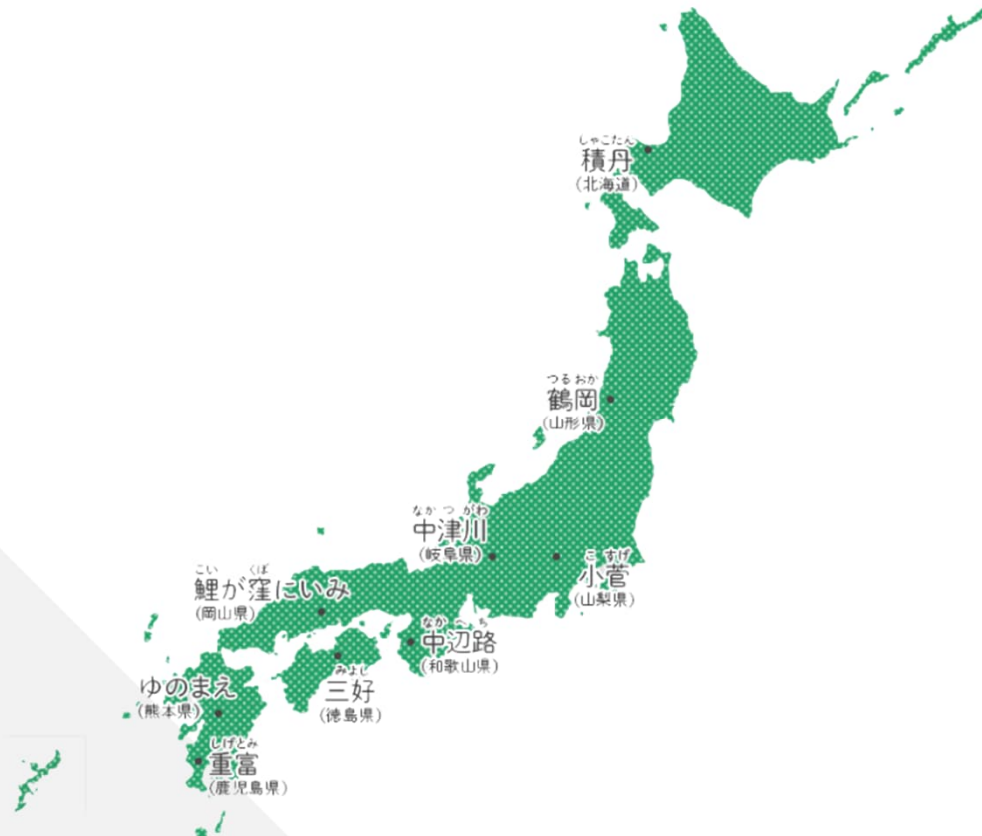
児童労働撲滅への取り組み： ARISE※プログラム

2011年からARISEを通して、葉たばこ耕作コミュニティにおける児童労働の撲滅に取り組んでいます。2022年までに、65,317人の就学を支援しました。

※ ARISE: Achieving Reduction of Child Labor in Support of Education

環境保全の取り組み

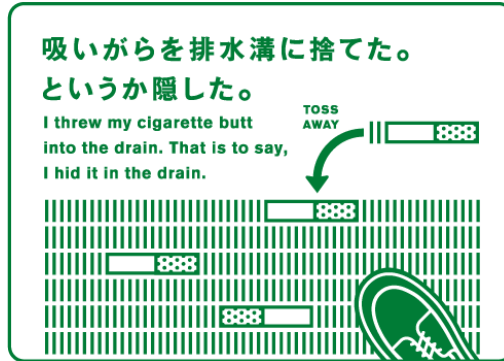
私たちは、責任ある地域コミュニティの一員として、幅広いステークホルダーとともに、社会課題の解決に向けて取り組んでいます。



JTの森

地域社会への貢献の一環として、全国9カ所で森林保全の取り組み「JTの森」を実施し、従業員自らも参画し元気な森を育てる活動を行っています。





マナー向上のための啓発活動

- ・マナー広告展開
- ・ひろえば街が好きになる運動



錦糸町駅北口喫煙所



虎ノ門ヒルズ内喫煙所

たばこを吸われる方と吸われない方、双方に配慮した分煙の取組み

- ・分煙コンサルティング活動
- ・分煙環境整備

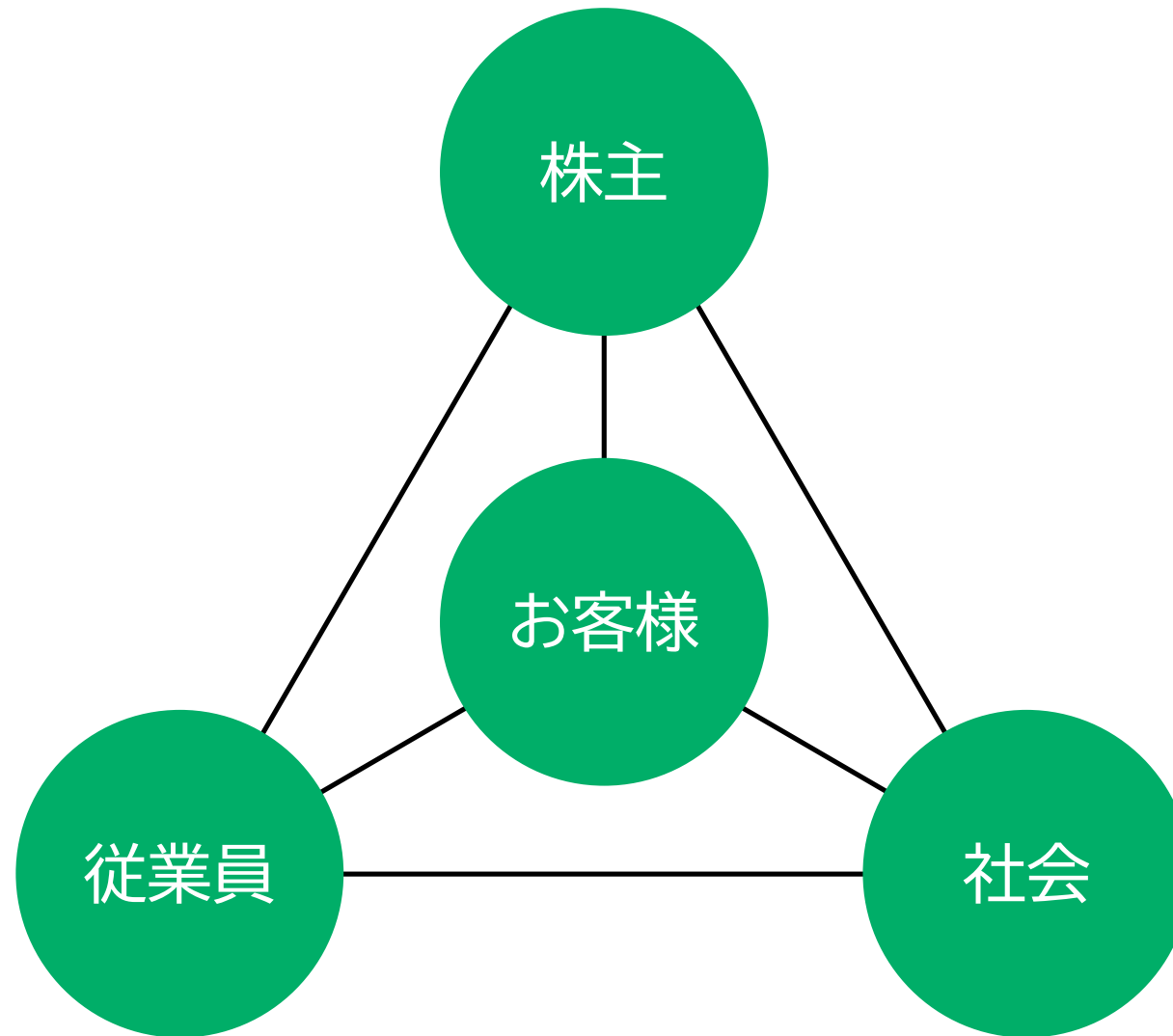
男女バレーボールチーム JTサンダーズ広島／ JTマーヴェラス



将棋日本シリーズ JTプロ公式戦／ テーブルマークこども大会



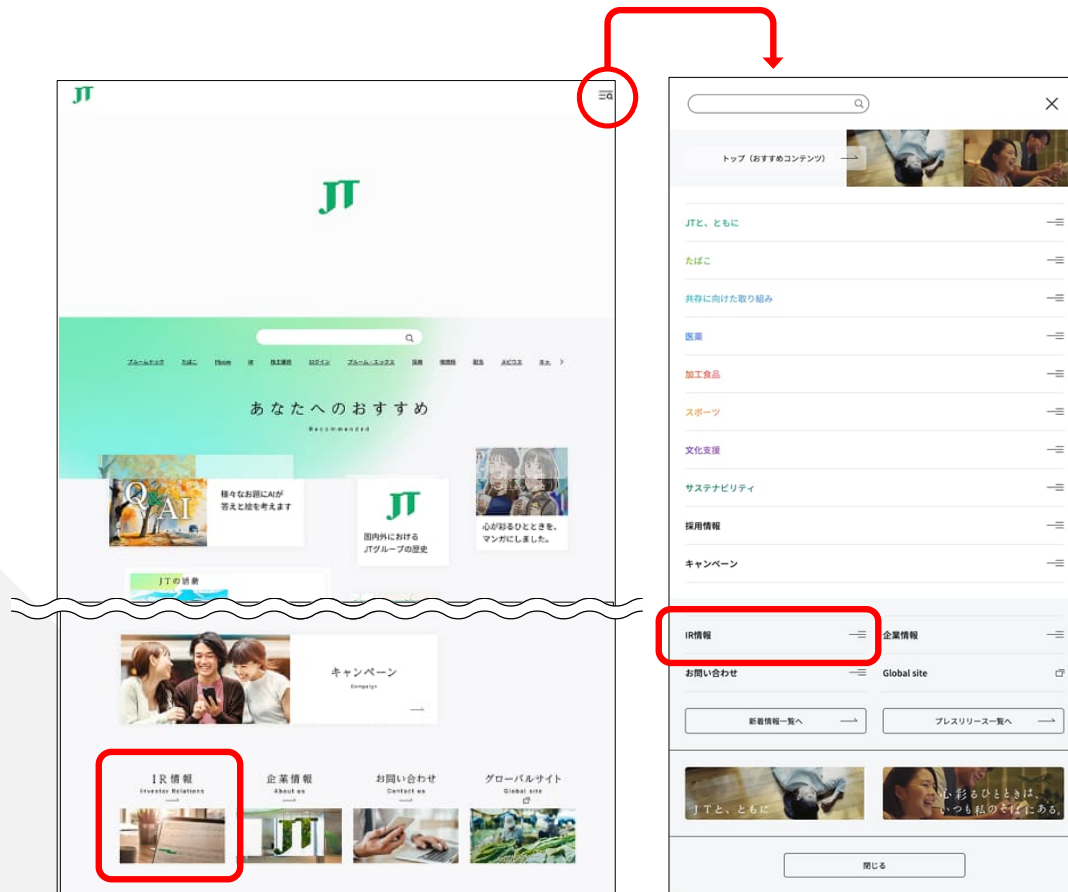
バレーボールチームや将棋日本シリーズの活動は、
JT Movie Channel、JT公式YouTubeでもご覧いただけます。



(参考) IRサイトのご紹介

当社ホームページにて、JTグループをより深くご理解いただくためのIR情報を発信しております。

PC版



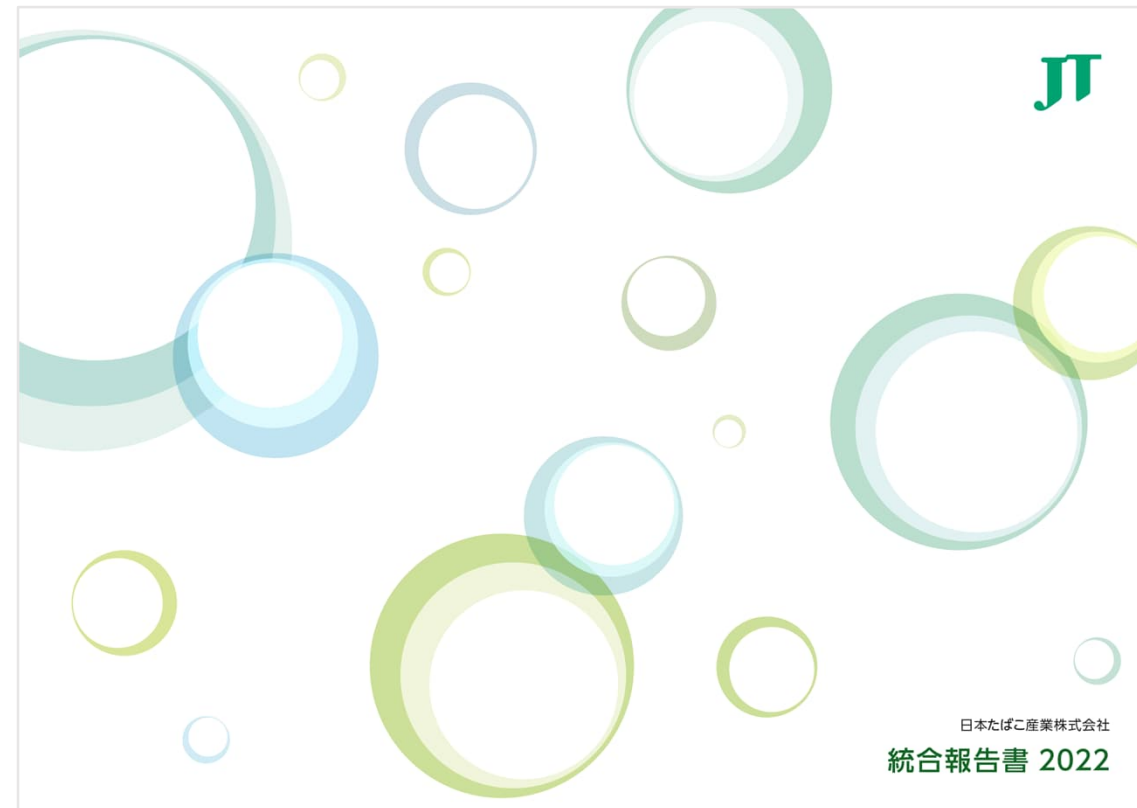
スマートフォン版



URL <https://www.jti.co.jp/investors/>

(参考) 統合報告書のご紹介

株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に、JTグループの持続的な企業価値向上に向けた取組みについてより分かりやすくご理解いただくために、財務情報・非財務情報をあわせて掲載した統合報告書を発行しております。



URL <https://www.jti.co.jp/investors/library/integratedreport/>

用語の定義

調整後営業利益	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目(収益及び費用) [※] ※調整項目(収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定調整後営業利益	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートを用いて換算／算出することにより、為替影響を除いた指標
当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
Reduced-Risk Products(RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
Heated tobacco sticks (HTS)	高温加熱型の加熱式たばこ。1スティック=RMC1本として換算
Combustibles	製造受託／水たばこ／加熱式たばこ／無煙たばこ／E-Vaporを除く 可燃性のたばこ製品
Global Flagship Brands(GFB)	Winston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランド
紙巻総需要(国内たばこ事業)	日本市場全体における紙巻たばこの本数ベースの市場規模(自社推計) リトルシガーを含み、RRP 等を含まない
販売数量(海外たばこ事業)	水たばこ／E-Vapor製品／製造受託を除き、 Fine Cut／Cigar／Pipe／Snus／Kretek／加熱式たばこを含む